

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12239

常設展示室整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		博物館費	
	大事業		博物館事業	
中事業		常設展示室整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 博物館 近藤 壮 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	常設展示室の計画的な展示替えを行うとともにコーナー展示を行い多くの館蔵品を市民に公開する。		常設展示室の展示替えを行い、新しい資料を公開するための事業。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	個性ある地域文化の創造に関し、市民に適切な状態の博物館施設を提供するとともに、博物館展示活動の核である常設展示を開催する。	個性ある地域文化の創造に関し、市民に適切な状態の博物館施設を提供するとともに、博物館展示活動の核である常設展示を開催する。	年数回の展示替えを行い、大型資料等の撮影等を行う。	年数回の展示替えを行い、大型資料等の撮影等を行う。	年数回の展示替えを行い、大型資料等の撮影等を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	259	319	216	1,010	87	87	55	0	55	0
伸び率(%)	85%	28.1%	△16.6%	216.6%	△59.7%	△91.4%	△36.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,895	2,782	2,792	1,994	2,318	1,279	1,279	0	1,279
	正規職員以外	885	778	725	1,424	273	422	422	0	422
	小計	4,780	3,560	3,517	3,418	2,591	1,701	1,701	0	1,701
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	28	23	35	33	35	33	35	0	0	0
一般財源(税等)	231	296	181	977	52	54	20	0	55	0
所要人数(人)	正規職員	0.49	0.35	0.35	0.25	0.29	0.16	0.16	0.00	0.16
	正規職員以外	0.33	0.29	0.29	0.57	0.11	0.11	0.11	0.00	0.11
主な予算内訳	館蔵資料写真撮影費81千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	コーナー展示の回数	回	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
成果指標	リニューアル前後での入館者の増減率	%	目標値	2824	2824	2824	2824	2824
			実績値	2918	3470	3520		
			達成度(%)	103.3%	122.8%	124.6%	0%	%
			目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
成果指標	常設展示室整備率(達成面積/常設展示面積)	%	実績値	1.5	1.5	1.5		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	当館は、開館以来常設展示室のリニューアルを行っていないため、各テーマをもたせて定期的に展示資料を入れ替えるコーナー展示や寄贈資料を公開するホール展示、また新指定文化財の公開など、展示にメリハリをつけ、来館者に興味をもってもらえるようツイッターなど通した広報にも力を入れているが、常設展示室の入館者数は微増となっている。
見直し・改善内容	開館以来常設展示室のリニューアルを行っていないため、パネルやカラーコルトンの褪色が激しく、キャプションなども不統一で見にくいいため、中規模程度の展示替りリニューアルを行う必要がある。